

VI 家庭・地域との連携を深める

今日、学校が地域と一体になって子供たちを育てることが求められており、地域と連携して小中一貫教育に取り組むことは、相互の連携を強化し、これまで以上の大きな効果が期待できます。そのためにも、中学校区と市町村教育委員会が協力して、家庭・地域との連携を深めていくことが大切です。

1 家庭・地域の理解を深めるための実施方法例

【期待している効果】

家庭・地域における小中一貫教育の理解が深まる。

家庭・地域で、できることをやっこう。



【実施方法】

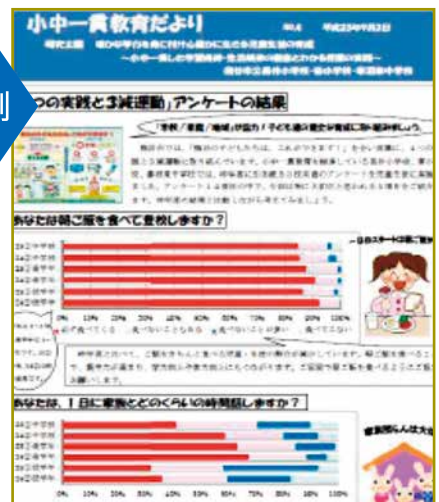
中学校区の学校が、小中一貫教育の情報誌を発行し、配布する。

教育委員会の担当者が、小・中学校での家庭教育講座等で出前講座を行う。

中学校区の学校が、研究発表会に地域住民等へ参加を呼び掛ける。

中学校区の学校が、PTA代表や自治会長等に推進状況を説明し、小中一貫教育に関する意見交換の場を設ける。

例



「小中一貫教育だより」熊谷市

例



「小中一貫教育連絡協議会」鴻巣市



「小・中学校応援団による資源回収」嵐山町

入間市立東町中学校区では「万燈まつり」で地域と連携



春日部市立大増中学校区は小・中学校保護者の子育て講座を開催

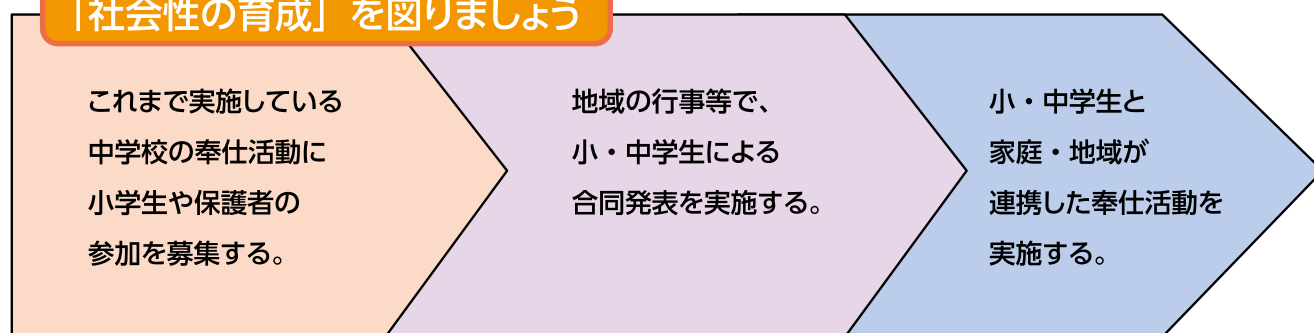
など

教育委員会担当者と小中一貫教育コーディネーター、各学校の小中一貫教育担当が連携して進めると効果的です。

- 家庭・地域の理解を深めるための教育委員会担当者のサポート例
 - ・市町村教育委員会のホームページに小中一貫教育に関するページを設定する。
 - ・情報誌や研究発表会案内等を、市町村内の地域住民に配布する。
 - ・小・中学校での家庭教育講座で、小中一貫教育についての説明を行う。
 - ・小中一貫教育に関する意見交換の場を設定する。

2 家庭・地域との連携を深める取組

「社会性の育成」を図りましょう



○実施の手順（事前・事後を含む）

- ① 年間行事計画の立案に際し、小・中合同の奉仕活動等を組み込む。
- ② 小・中学校の担当教諭等が計画を立案する。
- ③ 実施後、評価を生かし、様々な充実を図る計画を検討する。

○課題解決の手立て

- ・地域との交流にもできるだけ均等に参加できるように、教員の役割分担を行う。
- ・家庭状況の把握と情報の共有化を進めるために、合同研修会の中に情報交換の場を設定し、計画立案に生かす。

- 家庭・地域との連携を深めるための教育委員会担当者のサポート例
 - ・教育委員会内外の社会教育や広報などの関係課との連携を図る。
 - ・市町村の広報誌やホームページ等で、地域奉仕活動の報告をする。